

民生委員の活動を効率化したい！

解決したいこと	民生委員が行うひとり暮らし高齢者の安否確認のための訪問を効率化し、負担を軽減したい。
背景・現状	民生委員は、担当地区のひとり暮らし高齢者の自宅を訪問し、見守り（安否確認）を行っています。しかし、毎回訪問を行うことは民生委員にとって大きな負担となっています。この負担を考慮し、安否確認のための訪問回数は必要に応じて変えていただいておりますが、そのために民生委員によって訪問回数にばらつきが生じています。また、民生委員が見守り活動の中でひとり暮らし高齢者とコミュニケーションをとることは、高齢者の地域での孤立や認知症などを防ぐためにも非常に重要であり、単に生存を確認するだけではない見守り活動が必要です。
課題	訪問による安否確認の負担が大きいことが課題です。また、訪問回数も民生委員によってばらつきが生じており、地区ごとに見守り体制に差が出ている状態です。安否確認の効率化・平準化にはインターネットやスマートフォン等の利用が適していると考えますが、高齢者の多くがインターネットやスマートフォン等の利用に抵抗感があり、フォローが必要です。
提案して欲しいこと	訪問によらない安否確認の仕組み。ただし、高齢者とコミュニケーションがとれる方策を希望します。インターネットやスマートフォン等を活用した仕組みが望ましいですが、高齢者及び民生委員がスムーズに利用できるようにするための環境づくり、継続的に利用していただくためのフォローの仕組みなども併せて提案していただきたいです。
想定する解決策	高齢者向け安否確認アプリの操作説明の実施、継続利用を促すフォロー体制の構築など
提供できるリソース	民生委員リスト、ひとり暮らし高齢者認定者リスト
想定する事業実施時期	今年度中に実証実験を行い、事業の方向性を決めたい。
予算措置の可能性	現時点で予算はないが、必要に応じて翌年度以降予算要求を行う可能性がある。
担当課	高齢福祉課高齢福祉係